

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市荒井児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人アスイク
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 21,600人（前年度比 118.1%） ・ 令和2年度 18,289人
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 41,144千円（35,043千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童クラブ保護者懇談会を実施。

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図っている。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供など、子育て家庭を支援を行っている。今後、地域組織・団体・住民・関係機関との更なる連携、相互交流を図った児童館運営が期待される。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人アスイク）による自己評価》
<p>感染症対策として児童受け入れ時間帯には、1時間に1回の換気手洗いタイムを設けました。また、紫外線を用いたおもちゃ除菌ボックスを導入したことにより質の高い感染対策と消毒作業の効率化を併せて達成することができました。地域交流推進事業について、児童館運営委員会を発足し、第一回開催回には学校関係者、近隣町内会の会長などを含め15名の参加があり、子どもを取り巻く諸課題についてワークショップ形式で対話することができました。子育て支援クラブも同時期に発足させ、15名のメンバーで活動をスタートすることができています。メンバーには民生委員も複数含まれており、今後地域の子育て家庭とより密に関わることのできる体制を整えることができました。子育て家庭支援事業の中の乳幼児向けのイベントについて、一昨年度は募集定員に対して1イベント平均71%の参加率でしたが、R3年度は85%に増加しました。自由来館時に職員から積極的にコミュニケーションをとり、困りごとや不安を聞き取りその解消も目的としたイベントを企画したことからこのような成果が表れたと感じています。放課後児童健全育成事業では、昨年に引き続き、地元工務店様の協力を得てDIY教室を開催しました。工務店様のつながりから塗装会社様にもご協力をいただけることになり、木工製作作品にペンキ塗装を施す体験も実施できました。イベント開催の目的や意義を地元企業様にしっかりお伝えしたことにより広がったつながりだと考えます。また、児童クラブに関わるボランティアスタッフの増加も著しく、昨年度は延べ117時間だったボランティア活動時間がR3年度は329時間となりました。ボランティア活動説明会にて活動内容だけでなく活動によって得られる力についても説明したり、活動中に児童だけでなくスタッフとも会話することで支援の価値観を揃えたりしたことで継続した活動につながっていると考えます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、近隣児童館との「ドッチボール交流会」を企画し、大会に向けて継続的にドッチボールを楽しめる環境を整え、児童の体力向上と広域での児童交流を図った。地域の協力で実施した「親子DIY」など様々な親子参加の行事を通して、保護者が子育てに自信を持てるような支援にも努めており評価できる。高校生のボランティアを受け入れ高校生の自己発揮ができる場、異年齢交流を図る場を提供した。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、転入世帯が多い地域であることから乳幼児親子対象の自由来館での「ひだまりカフェ」を実施し、工作やリズム・読み聞かせなどバリエーション豊かな遊びや保護者同士の交流が図れる支援を行っている。児童館利用の保護者から、子育て支援クラブ設立の申し出があり、民生委員と連携しながら立ち上げの準備を行っており、次年度からの本格始動に期待が寄せられる。</p> <p>地域交流推進事業においては、運営委員会を今年度立ち上げ、小中学校・町内会・民生委員など地域の関係機関や団体との連携強化を図っている。</p> <p>放課後健全育成事業においては、体を十分に動かし楽しみながら規範意識も育めるよう、運動遊びやドッチボール・ダンスなどを定期的実施している。また、土曜日に自由工作の日を設けて段ボールハウス制作や牛乳パック工作など、じっくりと取り組める環境を整え、豊かな感性を育てている。テントを活用して一人の時間や空間が持てる環境を工夫するなど、児童一人一人の思いを尊重しそれぞれが心地よく過ごせる支援に努めている点も評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課